

# 川越市教育委員会第6回臨時会会議録

- 1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室
- 2 開 会 平成28年9月23日 午後4時5分
- 3 閉 会 平成28年9月23日 午後5時15分
- 4 教育長並びに出席した委員 新保正俊、梶川牧子、長谷川 均、原田由美、長井良憲
- 5 欠席委員 なし
- 6 教育長の職務を行った者 教育長新保正俊
- 7 説明のため出席した者 教育総務部長根岸督好、学校教育部長佐野 勝、学校教育部参事兼教育指導課長中野浩義、教育総務課長長谷正昭

## 8 前回会議録の承認

平成28年度第5回定例会会議録については、現在調整中であり、次回会議において承認することになった。

## 9 議題及び議事の概要

日程第1議案第25号 川越市教育委員会職員人事について  
(非公開)

## 10 報告事項

### (1) 市内中学校生徒事故について

参事兼教育指導課長

事故の概要については、平成28年8月23日に東松山市内の河川敷で少年の遺体が発見された。この事件に関与の疑いがあるとして、平成28年8月26日未明、市内中学校第3学年に在籍する男子生徒が逮捕されたものである。

事故の経過については、報告資料のとおりであるが、本市教育委員会等の取組については、スクールカウンセラーや臨床心理士の派遣を行い、該当校の生徒の心のケアを含め、正常な学校運営を最優先し、関係機関と連携を図りながら対応を進めている。

また、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会、東松山市教育委員会が合同で検証委員会を設置するとともに、本市としても検証をする会議を実施する予定となっている。

検証を通して、このような事故が二度と起きることのないよう再発防止について検討していく。

## 委 員

しっかりと検証してもらいたい。今回の事故は、家庭の問題が大きいと思うが、再発防止のためにどこまで教員や学校が踏み込んでいくべきかという点についても検証委員会で検討してもらいたい。

参事兼教育指導課長

今回の事故における大きな要因の一つは、家庭の問題であると思うが、この局面で違った対応をしていれば結果が変わっていたのではないかと思うところは何度かあった。

委員

今後、本市においても検証するための会議を実施する予定であるが、どのような方が参加するのか伺いたい。

参事兼教育指導課長

庁内の関係部局における部長や課長、学識経験者、医師、臨床心理士、弁護士などを検討している。

教育長

児童相談所や警察署などの関係機関もメンバーに入れた方が良い。

委員

再発防止のためには、地域の協力が必要である。地域によっては、定期的にパトロールを行っている学校もある。

委員

学校評議員会議などで学校における課題を議論し、情報を共有していくことも必要である。

教育長

P T A連合会との関わりも重要であり、健全育成のための取組も積極的に行っていく必要がある。

参事兼教育指導課長

今後の予定については、本日の夜7時から、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会及び東松山市教育委員会の3者による検証委員会を行う予定である。本市においても検証会議を10月中旬頃に実施する予定である。

学校教育部長

第三者の立場から検証するため、10月5日に開催する「川越市いじめ問題対策委員会」においても出席委員から今回の事故に関して意見を聞く予定である。

## 1 1 その他

- (1) 議事に先立ち教育長から、議案第25号は人事に関する情報であることから、これらの審議に係る会議を公開しないこととする動議が提出され、全出席委員がこの動議に賛成し、当該審議については非公開として取扱うこととし、議案第25号は、関係理事者（教育総務部長、学校教育部長、教育総務課長）のみによる審議とすることに決定した。
- (2) 会議録署名委員として、梶川教育長職務代理者、長谷川委員が指名された。